

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）
（為替ヘッジなし）」は、このたび、第153期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券を中心に、他、転換社債（ＣＢ）等に実質的に投資を行い、投資信託財産の安定した収益の確保と着実な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第153期末(2025年 5月19日)

基準価額	7,463円
純資産総額	6,708百万円
第148期～第153期	
騰落率	△ 5.4%
分配金(税引前)合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

アジア ハイ・イールド・ プラス(毎月決算型) (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2024年11月19日～2025年 5月19日

交付運用報告書

第148期(決算日2024年12月17日) 第151期(決算日2025年 3月17日)

第149期(決算日2025年 1月17日) 第152期(決算日2025年 4月17日)

第150期(決算日2025年 2月17日) 第153期(決算日2025年 5月19日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

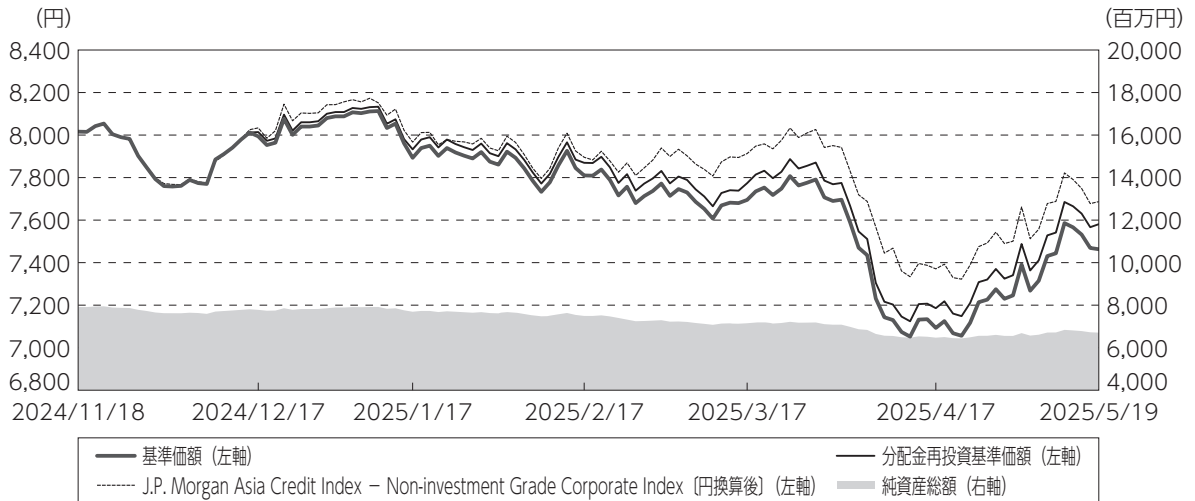
■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300（受付時間：営業日の9:00～17:00）

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2024年11月19日～2025年5月19日)



第148期首：8,016円

第153期末：7,463円 (既払分配金(税引前):120円)

騰落率：△ 5.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。参考指数は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しております。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。(以下同じ。)
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首(2024年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）(適格機関投資家専用)
 - ・投資対象とした「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」(マザーファンド)において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））
 - ・情報技術、金融、素材セクターが堅調に推移し、個別銘柄ではX I A O M I B E S T T I M E I N T E R N A T I O N A LやS K H Y N I X、C H I N A H O N G Q I A Oなどの組入れがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）(適格機関投資家専用)
 - ・マザーファンドにおいて、保有債券の価格が下落したことがマイナス要因となりました。
 - ・為替市場において、米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））
 - ・マイナスリターンになったセクターはなかったものの、個別銘柄ではH O N H A I P R E C I S I O NやV N E T G R O U P、M I N I S O G R O U P、W E I B Oなどの組入れがマイナス要因となりました。
 - ・為替市場において、米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2024年 11月 19日～2025年 5月 19日)

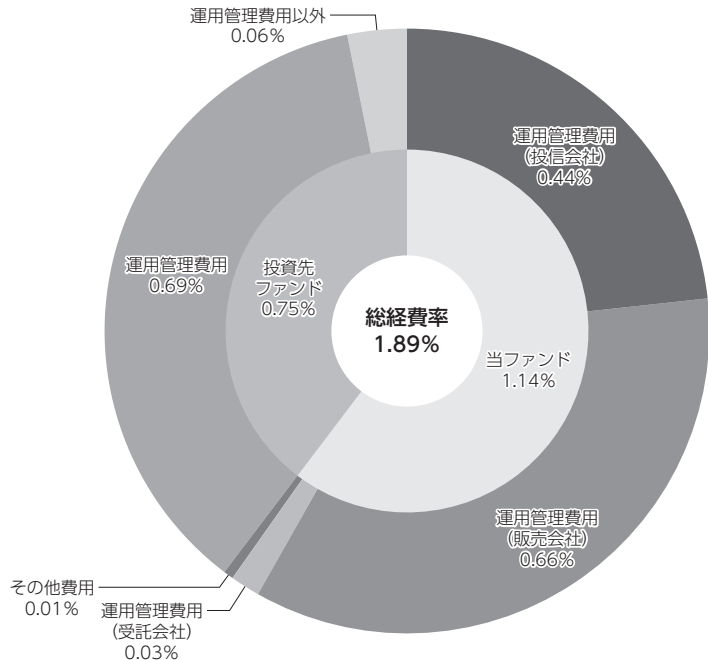
項 目	第148期～第153期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 44	% 0.565	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(17)	(0.219)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(25)	(0.329)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.007	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	45	0.572	
作成期間中の平均基準価額は、7,736円です。			

- (注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



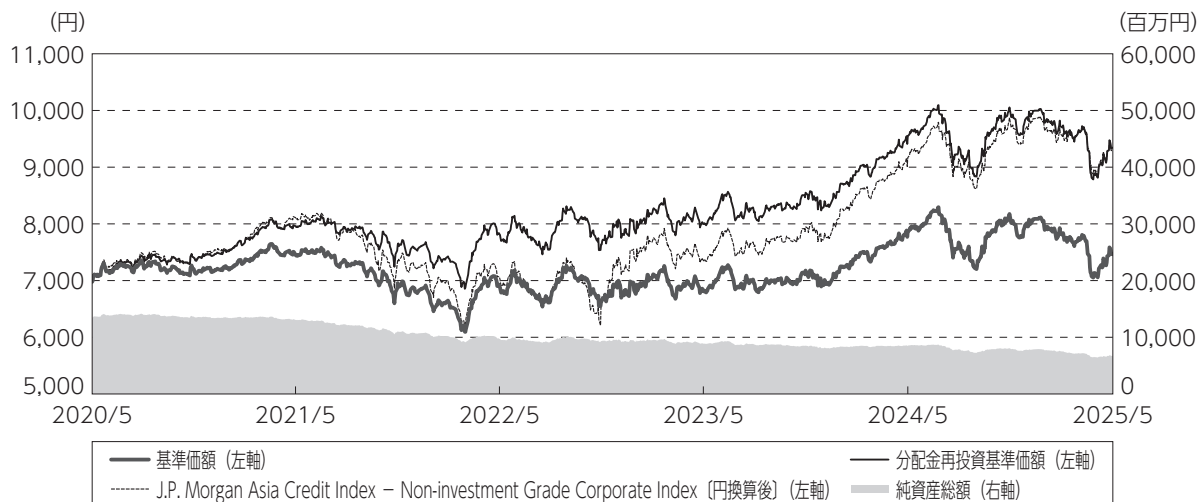
(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.89
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。
(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年5月18日～2025年5月19日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index (円換算後) は当ファンドの参考指数です。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年5月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年5月18日 期初	2021年5月17日 決算日	2022年5月17日 決算日	2023年5月17日 決算日	2024年5月17日 決算日	2025年5月19日 決算日
基準価額 (円)	6,977	7,453	6,893	6,812	7,864	7,463
期間分配金合計(税引前) (円)	—	480	420	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	14.1	△ 1.8	2.3	19.3	△ 2.1
J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate (%) Index (円換算後)騰落率	—	16.2	△ 13.0	4.3	24.6	1.5
純資産総額 (百万円)	13,454	13,057	9,702	8,876	8,548	6,708

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

投資環境

(2024年11月19日～2025年5月19日)

当作成期のアジア ハイ・イールド債券市場は上昇しました。作成期首は、ロシア・ウクライナ情勢が緊迫化したことや財政規律重視派とされるベッセント氏が米財務長官に指名されたことなどから米国債が買われる展開となりましたが、その後は経済指標から米景気の堅調さが示唆されたことや、米連邦準備制度理事会（F R B）が早期利下げに慎重な姿勢を示したことなどを受けて米国債利回りは上昇基調で推移しました。しかし、2025年1月下旬に中国企業が低コストの生成A I（人工知能）を発表したことを背景にA I関連事業の成長見通しに対する懸念からリスクオフ姿勢が強まり、利回りは低下に転じました。その後、作成期末にかけては、経済指標に弱含みが見られたことや、トランプ米政権の関税政策によって設備投資や消費が冷え込むとの懸念が高まったことから、利回りは高いボラティリティを伴いながら推移しました。また、中国では、3月に開かれた全国人民代表大会（全人代）で内需拡大を重点政策に置くなど、作成期を通じて政府が経済支援に積極的な姿勢を示しました。アジア企業のファンダメンタルズは健全さを維持したものの、米関税政策をはじめとするグローバル経済の不確実性の高まりから投資家のリスクセンチメントは悪化しました。

アジアC B市場は上昇しました。グローバル株式市場においては、米国の金融政策や政治的要因を背景に上下動を繰り返しながらも、総じて堅調な推移となりました。米大統領・連邦議会選挙ではトランプ氏および共和党の勝利が好感され、株価は一段高となりましたが、その後はインフレ懸念が再燃し調整局面に入りました。2025年に入ると、トランプ氏の大統領就任で一時上昇する場面があったものの、中国企業による生成A I関連の発表などで不安定な動きが続いたほか、2月以降も移民政策や追加関税の影響で軟調に推移しました。3月以降は景気後退懸念と政策期待が交錯しながらも、4月には関税一時停止の報道を受けて市場は持ち直しました。このようななか、アジアC B市場も総じて堅調に推移しました。

為替市場では米ドルが対円で下落（円高）しました。F R Bが利下げペースを鈍化させるとの観測が強まる一方で日銀が追加利上げを見送ったことから、2025年初頭にかけて米ドル高／円安が進行しました。しかしその後は、米国の主要経済指標の悪化を背景に米金利が低下する一方で国内金利が上昇し日米金利差が縮小したほか、米国の関税政策に対する世界景気への影響が懸念され、米ドル安／円高基調が鮮明となりました。作成期末にかけても、米関税政策の不透明感や大手格付け会社による米国債の格下げなどを背景にいわゆる「ドル離れ」が進み、米ドル安／円高となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年11月19日～2025年5月19日)

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」および「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として、様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。当作成期においては、国別ではインド、業種別では金融への投資比率を高めに維持しました。

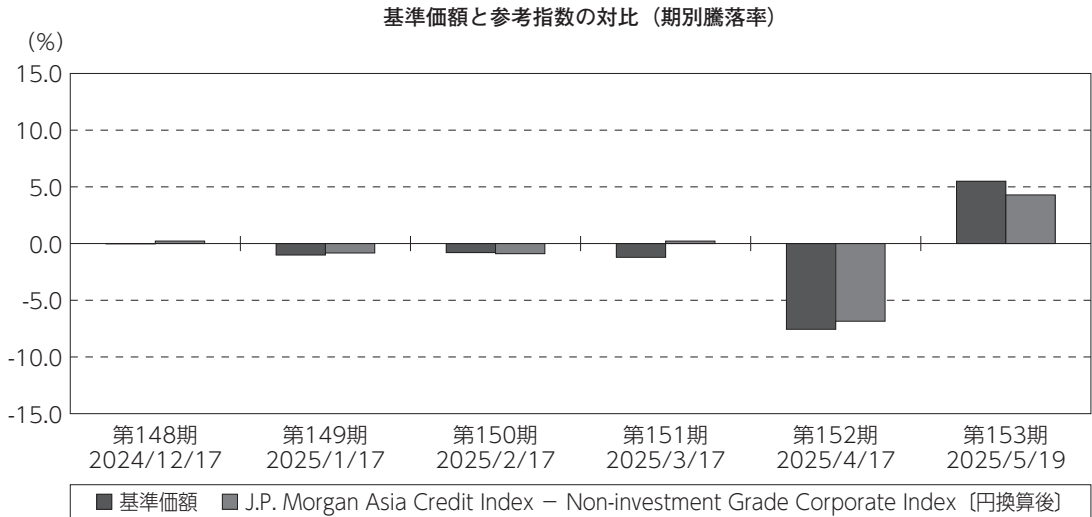
○シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))

日本を除くアジア企業が発行する転換社債またはその他証券(転換優先株、他社株転換可能債券など)に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行いました。また、外貨建資産への投資については、為替ヘッジを行いませんでした。当作成期においては、セクター別では情報技術、一般消費財・サービス、金融セクターの組入比率を高位とし、国別では中国、台湾、韓国を中心とした組入れとしました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年11月19日～2025年5月19日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index (円換算後) です。

分配金

(2024年11月19日～2025年5月19日)

当作成期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第148期	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期
	2024年11月19日～ 2024年12月17日	2024年12月18日～ 2025年1月17日	2025年1月18日～ 2025年2月17日	2025年2月18日～ 2025年3月17日	2025年3月18日～ 2025年4月17日	2025年4月18日～ 2025年5月19日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.250%	0.253%	0.255%	0.259%	0.281%	0.267%
当期の収益	20	20	20	15	20	20
当期の収益以外	—	—	—	4	—	—
翌期繰越分配対象額	739	747	755	751	758	769

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税引前) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」と「シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

足元では、米国の関税引き上げをはじめとして政策動向の不透明感が高まっています。企業や家計の健全さが一定程度クッションとしてはたらくと期待されるものの、消費者のセンチメントの悪化によって需要が減退する可能性があり、マクロ経済の成長ペースは減速すると見えています。中国については、関税引き上げの影響を踏まえて成長見通しを引き下げましたが、財政拡大と金融緩和による支援が引き続き期待されます。このような環境下で、アジア・ハイ・イールド企業の信用力は健全性を維持すると考えていますが、米関税政策の動向を注視し、安定的なキャリー (利息収入など) 水準を維持しつつもよりクオリティの高い発行体などへの投資機会に注目しています。

運用においては、マザーファンドへの投資を通じてアジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目指します。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

○シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))

足元の中国株を見ますと、企業業績が低迷した後、米国株などよりも相対的に割安な価格で取引されており、中国株への関心が高まることが予想されます。また、中国のテクノロジーセクターについても再び注目を集めています。中国の将来的な成長において重要な点は、今後の財政刺激策や政策による経済成長促進効果、収益見通しの改善を実現できるかどうかであると考えます。家計と企業の国内における信頼感の向上が成長見通しの鍵を握る一方、外部環境が厳しいなか、国内政策は依然として重要です。韓国や台湾においても、テクノロジー銘柄のパフォーマンスが市場動向を左右しており、米国との貿易に対する不確実性も考慮すべき要因であるといえます。インド市場では、中堅・中小企業のバリュエーションや成長が注目されており、投資機会を模索するなかで、業績やマクロ経済データを慎重に分析していく方針です。

運用においては、日本を除くアジア企業が発行する転換社債またはその他証券 (転換優先株、他社株転換可能債券など) に投資を行い、信託財産の着実な成長を目指します。なお、外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行いません。

お知らせ

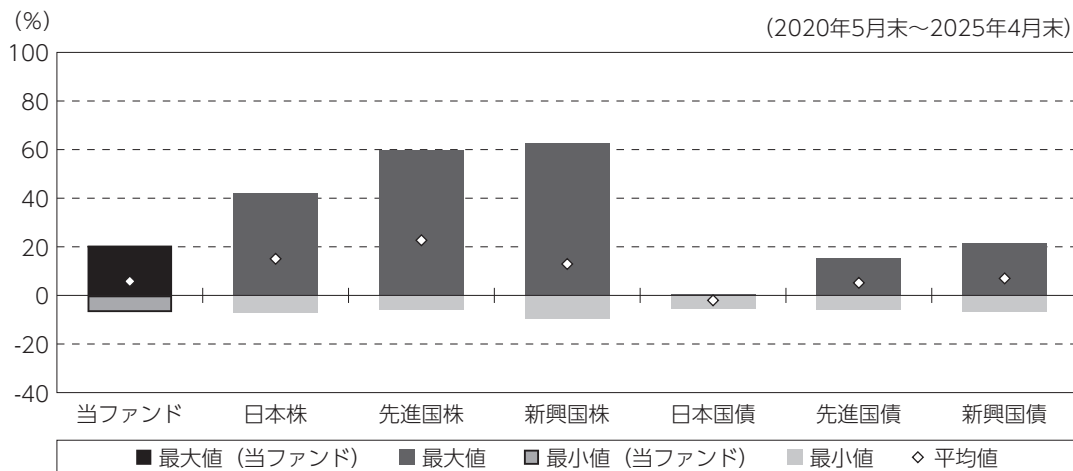
- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2025年4月1日)
- 2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2012年8月27日から2027年5月17日までです。	
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券を中心に、他、転換社債（ＣＢ）等に実質的に投資を行い、投資信託財産の安定した収益の確保と着実な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当 フ ァ ン ド	・アジア・ハイ・イールド債券ファンドＦ（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用） ・シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアＣＢ（Ｃクラス（米ドル建て）） ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドＦ（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）の受益証券への投資を通じて、アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
	シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアＣＢ（Ｃクラス（米ドル建て））	ファンドの資産のうち少なくとも3分の2以上は、アジア（除く日本）企業が発行する転換社債またはその他証券（転換優先株、他社株転換可能債券など）を主要投資対象とします。
運 用 方 法	投資にあたっては、ファンダメンタルズ分析、バリュエーション分析等を基に銘柄を選定します。また転換社債（ＣＢ）に関しては、前記に加え、株価との連動性等を勘案し銘柄を選定します。ポートフォリオの構築にあたっては、金利収入の獲得を重視し、債券価格の上昇による投資信託財産の成長を目指します。	
分 配 方 針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	20.5	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 6.9	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	5.8	15.1	22.7	12.9	△ 2.0	5.2	7.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年5月から2025年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

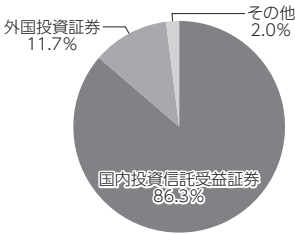
組入資産の内容

(2025年5月19日現在)

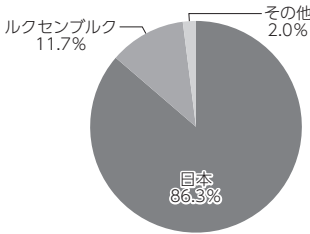
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第153期末
	%
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	86.3
シュロダー・インターナショナル・セクション・ファンド・アジアCB (Cクラス(米ドル建て))	11.7
組入銘柄数	2銘柄

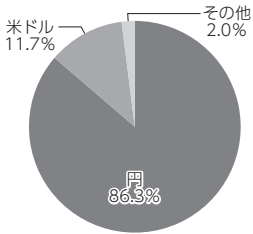
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

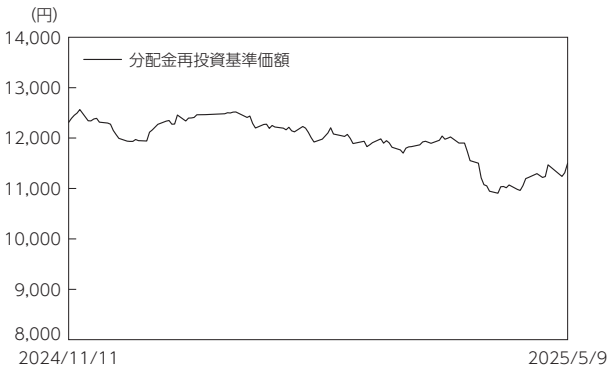
項 目	第148期末	第149期末	第150期末	第151期末	第152期末	第153期末
	2024年12月17日	2025年 1月17日	2025年 2月17日	2025年 3月17日	2025年 4月17日	2025年 5月19日
純 資 産 総 額	7,779,586,376円	7,690,944,202円	7,493,691,228円	7,147,239,714円	6,471,122,874円	6,708,658,198円
受 益 権 総 口 数	9,732,120,622口	9,744,528,726口	9,595,137,176口	9,288,087,687口	9,122,946,588口	8,988,869,832口
1万口当たり基準価額	7,994円	7,893円	7,810円	7,695円	7,093円	7,463円

(注) 当作成期間（第148期～第153期）中における追加設定元本額は36,277,205円、同解約元本額は918,819,474円です。

組入上位ファンドの概要

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2024年11月11日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年11月12日～2025年5月9日)

項 目	第156期～第161期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬	41	0.345
(投 信 会 社)	(38)	(0.324)
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)
(b) そ の 他 費 用	3	0.024
(保 管 費 用)	(1)	(0.013)
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)
合 計	44	0.369

作成期間中の平均基準価額は、11,795円です。

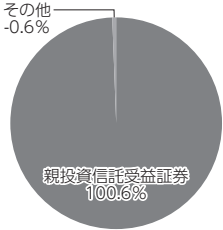
- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。
(注) 作成期間中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

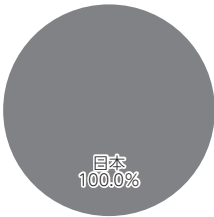
(2025年5月9日現在)

銘 柄 名	投資比率
	%
GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)	100.6
その他	-0.6
組入銘柄数	1銘柄

【資産別配分】



【国別配分】



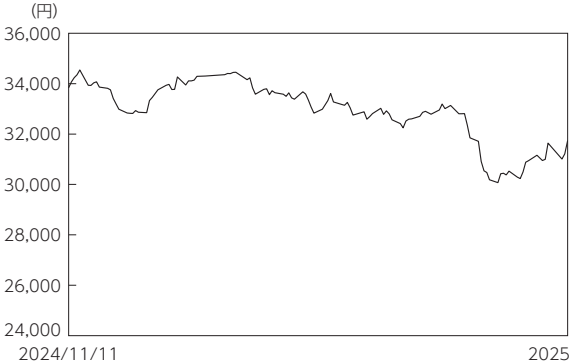
【通貨別配分】



- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) その他は現金・預金・その他の資産 (負債控除後) です。
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

<ご参考> G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年11月12日～2025年5月9日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	4	0.013
(保 管 費 用)	(4)	(0.013)
合 計	4	0.013
期中の平均基準価額は、32,872円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書 (全体版) をご参照ください。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

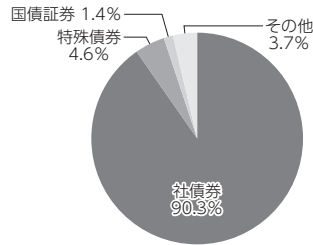
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

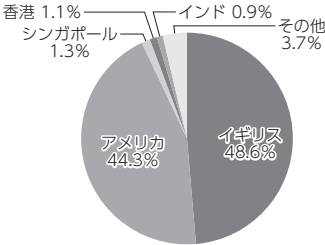
(2025年5月9日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率
					%
1	WYNN MACAU 5.625% REGS	社債券	米ドル	アメリカ	5.4
2	MELCO RESORTS7.625% REGS	社債券	米ドル	アメリカ	4.7
3	GLP PTE 3.875% EMTN	社債券	米ドル	イギリス	3.3
4	STUDIO CITY FIN 5% REGS	社債券	米ドル	アメリカ	2.9
5	BK EAST ASIA VAR EMTN 4	社債券	米ドル	イギリス	2.7
6	GLP CHINA 2.95% EMTN	社債券	米ドル	イギリス	2.6
7	INDIACLEANENERGY4.5%REGS	社債券	米ドル	イギリス	2.2
8	INDIA GREEN POWE 4% REGS	社債券	米ドル	イギリス	2.0
9	VEDANTA 10.875% REGS	社債券	米ドル	イギリス	2.0
10	FORTUNE STAR 5%	社債券	米ドル	アメリカ	1.8
組入銘柄数			88銘柄		

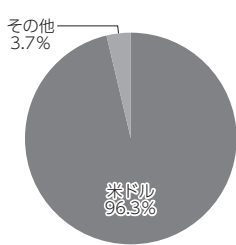
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) その他は現金・預金・その他の資産 (負債控除後) です。

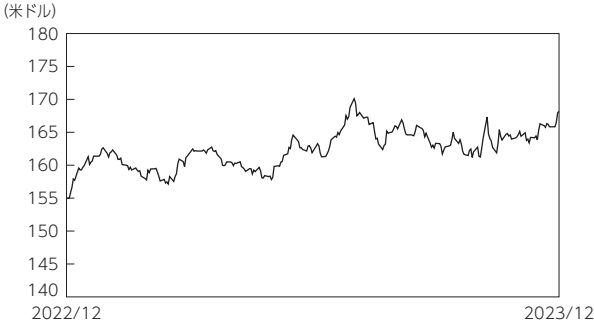
(注) 国 (地域) および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアC B (Cクラス (米ドル建て))

※シュローダー・インベストメント・マネージメント (ヨーロッパ) ・エス・エーのデータを基に、S B I 岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年1月1日～2023年12月31日)
当ファンドにおける1万口当たりの費用の明細に関する情報がないため、開示できません。

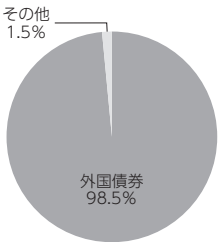
以下は、シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアC Bの状況です。

【組入上位10銘柄】

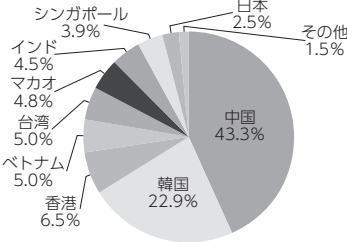
(2023年12月31日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率%
1	SK HYNIX INC RegS 1.75% 11/04/2030	情報技術	米ドル	韓国	7.0
2	POSCO HOLDINGS INC RegS 0% 01/09/2026	素材	ユーロ	韓国	6.7
3	ANLLIAN CAPITAL LTD RegS 0% 05/02/2025	一般消費財・サービス	ユーロ	中国	6.6
4	LG CHEM LTD RegS 1.6% 18/07/2030	素材	米ドル	韓国	6.0
5	WYNN MACAU LTD 144A 4.5% 07/03/2029	一般消費財・サービス	米ドル	マカオ	4.8
6	LENOVO GROUP LTD RegS 2.5% 26/08/2029	情報技術	米ドル	中国	4.7
7	CATHAY PACIFIC FINANCE III LTD RegS 2.75% 05/02/2026	資本財・サービス	香港ドル	香港	4.7
8	BHARTI AIRTEL LTD RegS 1.5% 17/02/2025	コミュニケーション・サービス	米ドル	インド	4.5
9	SINGAPORE AIRLINES LTD RegS 1.625% 03/12/2025	資本財・サービス	シンガポールドル	シンガポール	3.9
10	KINGSOFT CORP LTD RegS 0.625% 29/04/2025	コミュニケーション・サービス	香港ドル	中国	3.7
組入銘柄数			43銘柄		

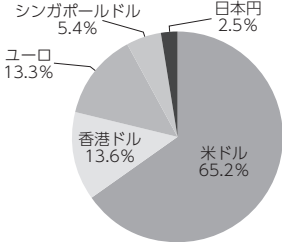
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 国(地域)および国別配分につきましてはリスク国を表示しております。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。